

2 朝市等

②土曜市の開催

☞ 商店街振興組合による買い物支援の取組

【小樽都通り商店街振興組合】（後志総合振興局管内）

■取組の背景

「小樽都通り商店街振興組合」では、5月から11月までの間、毎週土曜日に余市町・仁木町・積丹町の就農者で集まる「しりべしなんでも百姓くらぶ」のメンバー等による無農薬野菜や農産加工品等の販売を実施しています。

商店街の買い物客は主婦層が多く、土日になると客足が少なくなってしまうことから、週末の集客イベントとして20年ほど前から毎年開催しています。



〔新鮮な野菜が毎週並ぶ〕

■取組の概要

毎週土曜日の11時から13時まで開催していますが、オープンを待ちわびている客で行列ができ、早い時には12時で売り切れてしまうほど、大盛況となっています。

無農薬野菜をはじめ卵、はちみつやジャム、お漬物など数多くの品が並べられ、最近では北海道では珍しい野菜も販売され、調理方法などについてお客様との会話もはずみ、土曜市の輪が広がってきています。



〔全蓋式アーケードで天候の心配なし〕

■取組のポイント

組合では参加構成員から出店料を徴収し、その全額を児童書購入資金に充てています。毎年、市内の小学校2校に寄贈し、令和4年度で、市内全校へ寄贈がされました。始めた当初は、農業関係の書籍を寄贈していたが、現在では各校の希望する児童書を寄贈しており、今後も引き続き取り組んで行く予定です。

農産品の販売は、新鮮で安価なことから地元住民から長年支持されてきていますが、近年の物価高騰や鳥インフルエンザによる卵不足もあり、更に賑わいを魅せています。

■今後の展開

出店数については、収穫の最盛期には15店舗ほどが出店していますが、野菜の収穫時期を過ぎると出店数が減少するため、今後はワイン、漬物など加工品の販売店についても増やしていきたいと考えているとのこと。

余市産のはちみつなど人気の高い商品は、通年購入可能。

また、外国人観光客も戻り、コロナ禍以前よりも売上が伸びている店舗も増加しています。

今後も全蓋式アーケードを活かし、天候に左右されることなく、「雪あかりの路」、「春のみやこ市」や「秋のみやこ市」、ハロウィン、クリスマスイベントなど年間を通じたイベントを実施していく予定です。



〔ZiP スズキでは年中購入可能〕